

毒きのこによる 食中毒に注意!

毒きのこによる食中毒は、毎年、全国で多数報告されています。特に9~11月の発生が多く、ほとんどが食用のきのこと間違えて食べていることが原因です。

京都市内でも夏から秋にかけて山林、河川敷、市街地などの様々な場所で毒きのこが自生していますので、誤って食べないようにしましょう。

毒
ヘビキノコモドキ

毒
オオシロ
カラカサタケ

京都市内にも
こんなに自生
してるんだ…!!

毒
チチアワタケ

毒
クサウラ
ヘニタケ



毒
イボテンシングタケ

毒
ウスキテングタケ

毒きのこによる食中毒を防ぐには!

食用きのこであるかどうか確実に判断できないきのこは絶対に

「採らない」、「食べない」、「売らない」、「人にあげない」。

科学的に根拠のない誤った言い伝えや迷信による素人判断は非常に危険です。

例 縦に裂けるきのこは食べられる。→X(裂け方は関係ありません)

派手な色のきのこは毒きのこ →X(地味な色の毒きのこもあります)

きのこを食べて体調を崩したら、医療機関を受診しましょう。その際、原因となつたきのこを持参すると、治療の参考になる場合があります。

代表的な毒きのこ

毒 カキシメジ

症状

頭痛, おう吐,
腹痛, 下痢

特徴

ブナ, コナラ, クヌギの雑木林の地上に発生します。ひだ
は成長すると、赤褐色のシミができるのが特徴です。毒
成分は水に溶けるため、煮汁を飲んだだけでも中毒を
起こします。食用のシイタケ, ニセアブラシメジ, チヤナ
と間違やすく、誤食が多いのです。

毒 ツキヨタケ

症状

おう吐, 下痢, 腹痛,
幻覚けいれん

特徴

ブナやカエデ科の木の倒木やそれらの木の枯れた
ものに発生します。食用のシイタケ, ムキタケ, ヒラ
タケと間違やすく、誤食が多いのです。

毒 ニセクロリバツ

症状

おう吐, 下痢, 横紋筋溶解が
原因と考えられる全身筋肉痛, 呼吸困難

特徴

シイ, カシなどの木がある地上に発生します。
死亡例のある猛毒のきのこです。

毒 ドクツルタケ

症状

おう吐, 下痢, 腹痛,
肝臓, 腎臓機能障害

特徴

広葉樹林及び針葉樹林の地上に発生します。見
た目は綺麗な白色をしていますが、死亡例のある
猛毒のきのこで、1本で死に至る危険性があります。

お問い合わせ先 一覧

名 称	電 話	所 在 地
医療衛生センター 北区, 上京区, 左京区, 東山区担当	746-7211	医療衛生センター 京都市中京区御池通高倉西入 高宮町200番地 千代田生命京都御池ビル2階, 6階
中京区, 下京区担当	746-7212	
山科区, 南区, 伏見区担当	746-7213	
右京区, 西京区担当	746-7214	